

第11回学術及び総合情報処理センター長会議議事要旨

東京農工大学総合情報処理センター 萩原 洋一

184 小金井市中町 2-24-16 hagi@cc.tuat.ac.jp

開催日時：平成8年10月25日(金)14:00～17:30

開催場所：東京農工大学総合情報処理センター多目的会議室

日程等：省略

参加者：文部省学術国際局林学術情報課長 林一夫、同学術情報係 野田好人。

弘前、図書館情報、筑波、埼玉、千葉、東京工業、電気通信、横浜国立、新潟、富山、金沢、信州、岐阜、神戸、岡山、山口、徳島、愛媛、長崎、熊本、東京農工の各大学センター長。広島、鹿児島、東京農工の各大学専任教官、熊本大学助手、専門職員。

(文部省+23大学)

資料等：

- (1) 平成9年度学術情報基盤の整備充実概算要求の概要(文部省)
- (2) 平成9年度科学研究費補助金公募要領(文部省)
- (3) パンフレット「学術情報システムの概要(文部省学術国際局発行)」(文部省)
- (4) 会議資料一式、着席表
- (5) 第8回研究交流連絡会議議事要旨および参考資料
- (6) 参加大学自己点検・評価資料
- (7) 東京農工大学総合情報処理センターパンフレット等、その他

議事内容：

当番校東京農工大学仁田センター長の司会により、以下の報告、議題等を議論した。

(1) 研究交流連絡会議報告(愛媛大学)

村上愛媛大学センター長より配布資料にもとづき、総合情報処理センターの学内の地位向上の提案等についての会議結果報告があった。また研究交流連絡会議を研究発表の場としてはどうかとの提案があった。

(2) 汎用大型計算機の役割について(新潟大学)

山崎センター長より議題提案理由の説明があり、いくつかの大学から方策等の意見があった。

(3) 自己点検評価の方法と項目について(千葉大学)

土屋センター長より議題提案理由の説明の後、東工大等、既に実施された大学の状況報告があった(資料参照)。その後、センターが抱える各種問題点についての議論に発展した。

(4) 総合情報処理センターの役割と将来に向けての展望

各大学抱えている共通問題の議論があり、次の内容等の議論が活発に交わされた。

- ・増大する業務のアウトソーシング

- ・ネットワーク等の維持管理について
- ・図書館との業務分担、組織の統合等
- ・慢性的な人員不足問題
- ・学内の地位向上例として、評議員部局長会議への参加
- ・その他

(5) 専任教官の研究環境の改善について議論された。

(6) 次回総合情報処理センター長会議開催校は、熊本大学に決定し、熊本大学渡邊センター長より挨拶があった。

(7) 次回学術及び総合情報処理センター研究交流・連絡会議の開催校として、図書館情報大学を承認し、図書館情報大学田畑センター長より挨拶があった。

